

第3回 栃木県「文化と知」の創造拠点整備構想策定検討委員会

日時：令和6(2024)年1月10日(水) 14:00~16:00
場所：栃木県庁東館4階講堂

資料 1. 検討スケジュールについて	3 ページ
資料 2. 「文化と知」の創造拠点の機能と役割について	5 ページ
(1) 基本理念・コンセプトにつながる視点の整理	6 ページ
(2) 美術館・図書館・文書館の機能と役割	9 ページ
(3) 3施設が連携した機能の考え方	12 ページ
(4) 新たな考え方の整理	13 ページ
参考資料 1. 県内の市町立美術館・図書館・文書館・文学館の設置状況	15 ページ
参考資料 2. 新たな考え方に係る事例	21 ページ
参考資料 3. 一体的な整備を行っている施設の事例	25 ページ

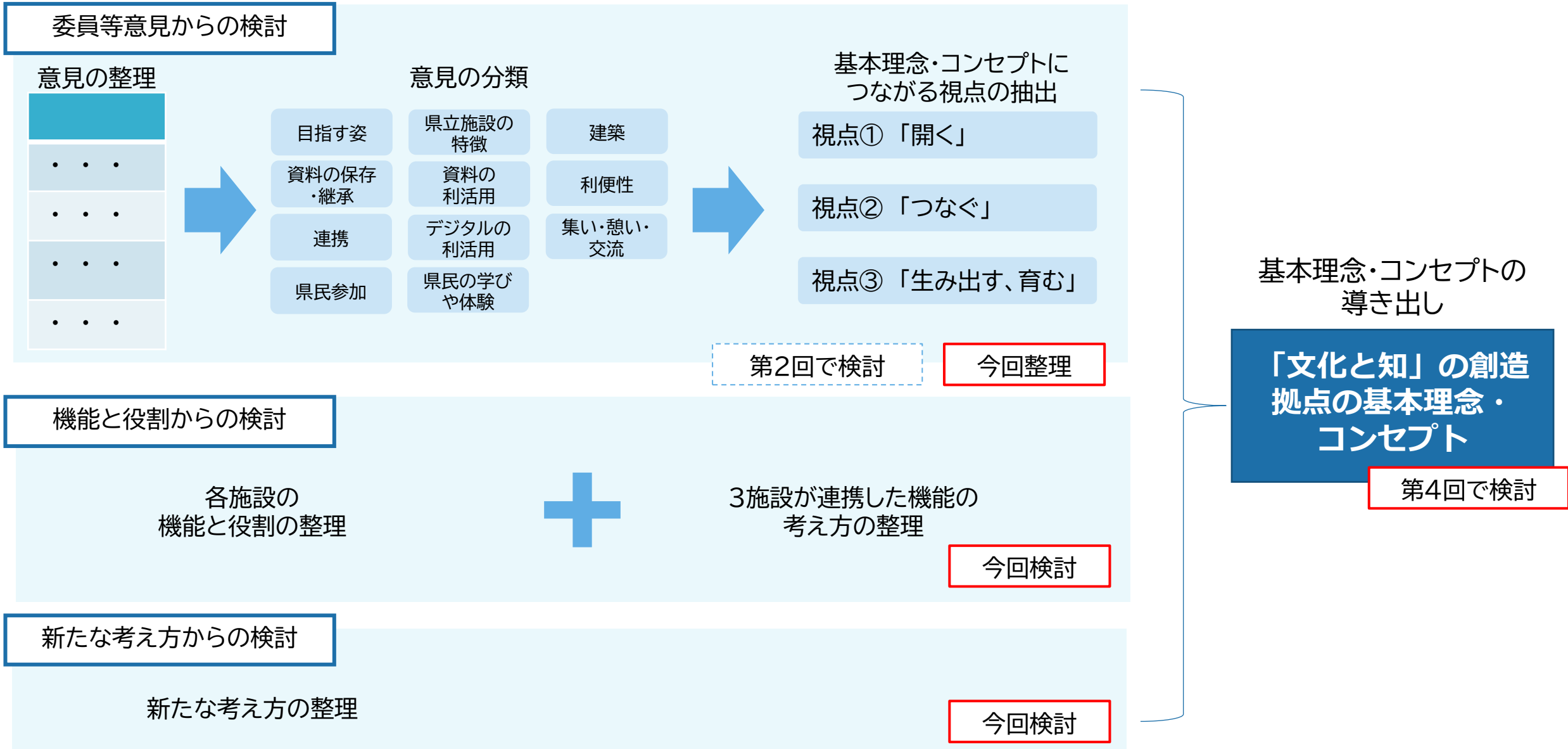
検討スケジュールについて

検討スケジュールについて

回数	日程	検討内容等(予定)
第1回(実施済)	令和5(2023)年8月1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 現状と課題の整理 県の考え方について
第2回(実施済)	令和5(2023)年10月31日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 一体的な整備について 整備地について 基本理念・コンセプトにつながる視点について
第3回(今回)	令和6(2024)年1月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 機能と役割 基本理念・コンセプト
第4回	令和6(2024)年3月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 機能と役割 基本理念・コンセプト 整備計画、管理運営計画、事業計画 <p>中間案のとりまとめ</p>
第5回	令和6(2024)年度中 ※第4回までに日程調整	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画、管理運営計画、事業計画
第6回	令和6(2024)年度中 ※第5回までに日程調整	<ul style="list-style-type: none"> 整備構想案のとりまとめ

「文化と知」の創造拠点の機能と役割について

基本理念・コンセプト検討の流れ



第2回検討委員会における主な意見

分類	主な意見
全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 3施設の利用者が交流できる場があることで「開く」、「つなぐ」が実現し、さらに「生み出す、育む」にもつながる
「開く」に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的の有無にかかわらず、多くの方が訪れ、リピートされる施設になると良い ● 利用するのに緊張せず、気疲れしない施設、飽きさせない、退屈させない施設になると良い ● 車いす使用者等、様々な利用者に配慮した施設になると良い ● 拠点の活動等の情報を広く発信し、県外の方やインバウンドの利用にもつなげていけると良い
「つなぐ」に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル空間で3施設と利用者がどのような協働ができるか、未来の視点を踏まえながら検討する必要がある ● 県内の美術館や図書館等のネットワーク作りの拠点になると良い ● 収蔵資料を適切に保存し、次世代に継承していくことが重要である
「生み出す、育む」に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ● 芸術鑑賞や図書貸出しだけでなく、何かを創り出していく「生み出す、育む」機能がこれから重要になる ● 県内の各施設のモデルとなり、県内各地で「文化と知」の創造の機運醸成が図られると良い ● 3施設で働く職員の姿を見ることで、子どもたちのキャリア教育にも貢献できる

基本理念・コンセプトにつながる視点

視点	内容
「開く」	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰でも・いつでも・どこからでも、気軽に利用し、活動に参加することができる ● 幅広い活動を通じ、栃木県ならではの「文化と知」に触れることができる ● 県民共有の財産である収蔵資料を身近に感じることができる ● <u>積極的に情報発信し、国内外から人々が訪れる</u>
「つなぐ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 3施設の連携強化や相互利用の促進が図られる ● 拠点を通して、利用者や地域、団体、県内の類似施設など様々な主体の連携・交流が図られる ● <u>オンライン上での活動等、デジタル技術を活用し、協働する</u> ● 「文化と知」を守り、次世代に継承する
「生み出す、育む」	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな「文化と知」を生み、育んでいく ● 拠点を通して「文化と知」の担い手が活躍する ● 教育機関との連携や生涯学習の支援などを通して、あらゆる年代の学びを支える ● <u>拠点の活動等を県内各地に波及させ、地域の文化・芸術活動等を活性化する</u>

【美術館】の機能と役割

県立施設としての役割

- 栃木県ゆかりの美術作品等の収集・展示などにより、美術文化を守り、次世代に継承する
- 様々な事業を通して、県民が優れた芸術に触れ、体験し、表現する活動を支援する
- 市町立美術館等と連携した事業展開により、県内美術館の牽引役を担う

基本的な機能

収集・保存	<ul style="list-style-type: none">● 栃木県ゆかりの美術作品等を体系的に収集する● 美術作品等の形態や特性に応じて適切に保存・管理する
展示・公開	<ul style="list-style-type: none">● コレクション展や市町立美術館等との連携展示により、県民に広く収蔵資料を紹介する● 企画展を通して、国内外の優れた美術作品等を鑑賞する機会を提供する
調査・研究	<ul style="list-style-type: none">● 美術館事業の基盤となる、美術作品・作家等の調査・研究を行う● 調査・研究の成果を展示・公開、教育・普及等の事業へ活かし、県内外へ発信する
教育・普及	<ul style="list-style-type: none">● 教育機関や文化団体等と連携し、幅広い年齢層に対応した講座や体験プログラムを提供する● 文化団体等と協力したイベントを開催し、県民が文化芸術活動に参加し、発表する機会を提供する
来館者サービス	<ul style="list-style-type: none">● 来館者等が集い、憩い、交流できる場(レストラン等)を提供する

新たに求められる機能

デジタル技術等を活用し、誰でも・いつでも・どこからでも文化芸術活動に参加できる仕組みを作るとともに、国内外からの来訪者を迎える文化芸術の拠点として、観光や地域振興にも資する美術館づくりが求められる。

【図書館】の機能と役割

県立施設としての役割

- 栃木県に関する情報の窓口として、地域資料等の利活用を促進する
- 県内の中核的な図書館として、市町立図書館等との連携体制の構築を図るとともに、社会情勢などの変化に対応した図書館サービスを提供する
- 専門的課題に対応した高度なレファレンスサービスを提供し、県民の課題解決を支援する
- 図書等を永年保存する施設として、知の財産を次世代に継承する

基本的な機能

収集・保存	<ul style="list-style-type: none"> ● 知のインフラとして必要な図書等や各分野の資料的価値の高い図書等を優先して収集し、保存する ● 図書等の適切な管理を行い、常に使いやすい状態で整理する
提供 (展示・公開)	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料の提供(閲覧、貸出)を行う ● 利用者が読書や調べものを行う場所や環境を提供する ● 利用者の学びを支援するため、企画展示や講座等を実施する ● 豊富な地域資料を活用し、文学をはじめ、栃木県の文化に親しむ機会を提供する
調査相談	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査・研究等を行う利用者に対し、多様なレファレンスサービスを提供する ● 利用者が資料を活用して調査・研究を行う際に役立つツールを作成する
図書館の 支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 市町立図書館等の職員を対象とした研修や、図書館間の連携に向けた会議を開催する ● 県内外の図書館等関係団体と連携し、県内図書館の振興を図る

新たに求められる機能

リアルとデジタルを活用しながら、誰でも・いつでも・どこからでも情報にアクセスできる環境を整え、知り得た情報から新たな発見や出会いにつなぐ、魅力的な図書館づくりが求められる。

【文書館】の機能と役割

県立施設としての役割

- 古文書・歴史的公文書等の様々な史料を収集・整理・保存し、栃木県の歴史を次世代に継承する
- 史料の閲覧・利用を通して、学術研究を支援するとともに、広く歴史に親しむ機会を提供する
- 歴史的公文書を適切に移管・保存することにより、県の施策等を次世代に継承し、将来の栃木県を形作る一助とする

基本的な機能

収集・保存	<ul style="list-style-type: none"> ● 古文書の受入れや補修、整理等を行う ● 歴史的公文書の収集や補修、整理等を行う ● 整理された史料を、適切な環境下で保存する
展示・公開	<ul style="list-style-type: none"> ● 史料の閲覧等への対応を行う ● 常設展・企画展等を実施する
調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ● 史料の調査・研究を行う ● 調査・研究の成果を紀要等を通して紹介する
調査相談	<ul style="list-style-type: none"> ● 史料の貸与、専門的な照会への対応等、利用者の調査・研究を支援する
教育・普及	<ul style="list-style-type: none"> ● 収集・整理・保存した史料を県内外に伝える ● イベントや教育機関への支援を通して、広く史料に触れる機会を提供する ● 教職員対象の講座などを通して、史料の教育機関等での活用を促進する

新たに求められる機能

県内各地で保存されている史料を適切に次世代に継承していくとともに、電子公文書等のデジタル史料の収集・保存・利用や、誰でも・いつでも・どこからでも様々な史料情報にアクセスできる環境整備等、新たな文書館づくりが求められる。

3施設が連携した機能の考え方

機能	内容
収集・保存	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料保存に係る技術や設備等の共有、相互利用
展示・公開	<ul style="list-style-type: none"> ● 同一テーマでの連携展示等の実施 ● 各施設の企画展等に係る調査協力 ● 利用者が収蔵資料を横断的に検索できるシステムの構築
調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究資料等の共同利用や、研究成果の共有
調査相談	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の調査・研究に係る照会への横断的な対応
教育・普及	<ul style="list-style-type: none"> ● 連携イベント、講座、ワークショップ等の実施 ● 3施設で連携した教育・普及プログラムの作成、実施
来館者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の利便性向上と3施設の相互利用につながる総合的な案内 ● 3施設が連携したデジタルによる情報発信 ● 3施設の来館者等が利用し、集い、憩い、交流できる場(カフェ・レストラン、ショップなど)の充実

新たな考え方の整理

新たな考え方①

デジタル

- デジタル技術を活用し、誰でも・いつでも・どこからでも利用できる
- 複数の施設で連携・協働してデジタル技術を活用する
- 美術館・図書館・文書館の機能に限ることなく、デジタルを用いた表現を体験できる場を提供する

新たな考え方②

共生社会

- 年齢、言語、障害の有無等にかかわらず、全ての人が活動に参加できる

新たな考え方③

環境配慮

- 環境の保全に向けた取組を進める

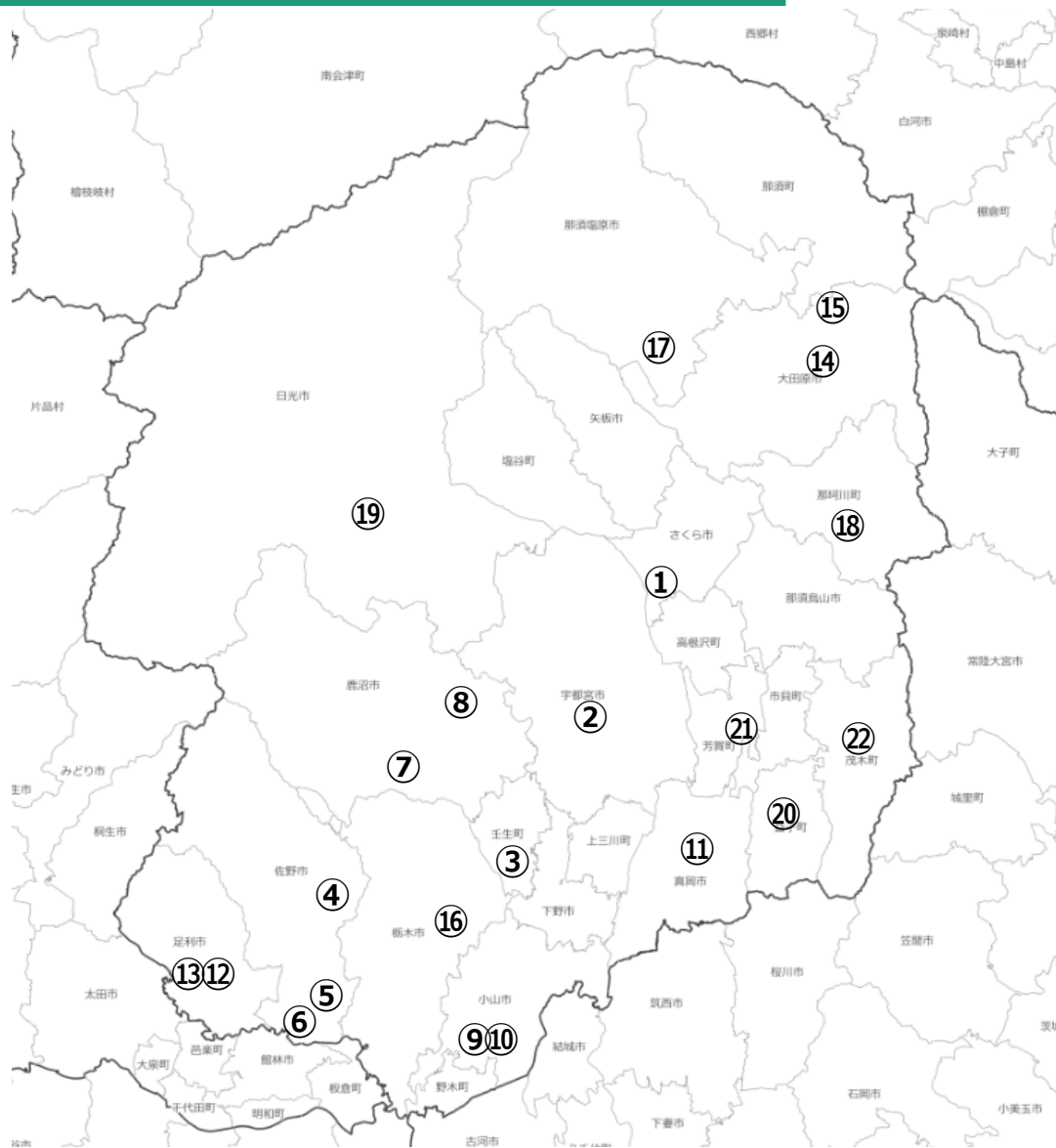
新たな考え方④

地域連携

- 農林業やものづくり産業など、県内の様々な産業と連携する
- 県内外を結ぶ観光や周遊の拠点となる

参 考 资 料

県内の市町立美術館（美術展示室を含む）の状況①



No.	館名
①	さくら市ミュージアム荒井寛方記念館（さくら市）
②	宇都宮美術館（宇都宮市）
③	壬生町立歴史民俗資料館（壬生町）
④	佐野市立吉澤記念美術館（佐野市）
⑤	田村耕一陶芸館（佐野市）
⑥	佐野市郷土博物館（佐野市）
⑦	栗野歴史民俗資料館（鹿沼市）
⑧	鹿沼市立川上澄生美術館（鹿沼市）
⑨	小山市立博物館（小山市）
⑩	小山市立車屋美術館（小山市）
⑪	久保記念観光文化交流館（真岡市）
⑫	足利市立美術館（足利市）
⑬	草雲美術館（足利市）
⑭	黒羽芭蕉の館（大田原市）
⑮	大田原市芸術文化研究所（大田原市）
⑯	栃木市立美術館（栃木市）
⑰	那須野が原博物館（那須塩原市）
⑱	那珂川町馬頭広重美術館（那珂川町）
⑲	小杉放菴記念日光美術館（日光市）
⑳	益子陶芸美術館（益子町）
㉑	芳賀町総合情報館（芳賀町）
㉒	茂木町まちなか文化交流館ふみの森もてぎ館（茂木町）

県内の市町立美術館（美術展示室を含む）の状況②

(※1) 登録：博物館法制度上の「登録博物館」
 相当：博物館法制度上の「博物館相当施設」
 類似：博物館法制度上の「博物館類似施設」

No.	館名	種別 (※1)			開館年	延床面積 (㎡)
		登録	相当	類似		
①	さくら市ミュージアム荒井寛方記念館 (さくら市)	○			平成5年	2,886
②	宇都宮美術館 (宇都宮市)	○			平成9年	9,869
③	壬生町立歴史民俗資料館 (壬生町)				昭和60年	967
④	佐野市立吉澤記念美術館 (佐野市)	○			平成14年	1,032
⑤	田村耕一陶芸館 (佐野市)			○	平成22年	315
⑥	佐野市郷土博物館 (佐野市)	○			昭和58年	2,155
⑦	粟野歴史民俗資料館 (鹿沼市)			○	昭和51年	348
⑧	鹿沼市立川上澄生美術館 (鹿沼市)			○	平成4年	498
⑨	小山市立博物館 (小山市)	○			昭和58年	1,908
⑩	小山市立車屋美術館 (小山市)			○	平成21年	2,695
⑪	久保記念観光文化交流館 (真岡市)			○	平成26年	93
⑫	足利市立美術館 (足利市)	○			平成6年	3,729
⑬	草雲美術館 (足利市)			○	昭和43年	427
⑭	黒羽芭蕉の館 (大田原市)			○	平成元年	969
⑮	大田原市芸術文化研究所 (大田原市)			○	平成26年	2,550
⑯	栃木市立美術館 (栃木市)	○			令和4年	2,375
⑰	那須野が原博物館 (那須塩原市)	○			平成16年	2,039
⑱	那珂川町馬頭広重美術館 (那珂川町)	○			平成12年	1,962
⑲	小杉放菴記念日光美術館 (日光市)	○			平成9年	1,825
⑳	益子陶芸美術館 (益子町)	○			平成5年	2,297
㉑	芳賀町総合情報館 (芳賀町)				平成20年	2,959
㉒	茂木町まちなか文化交流館ふみの森もてぎ館 (茂木町)			○	平成28年	2,977

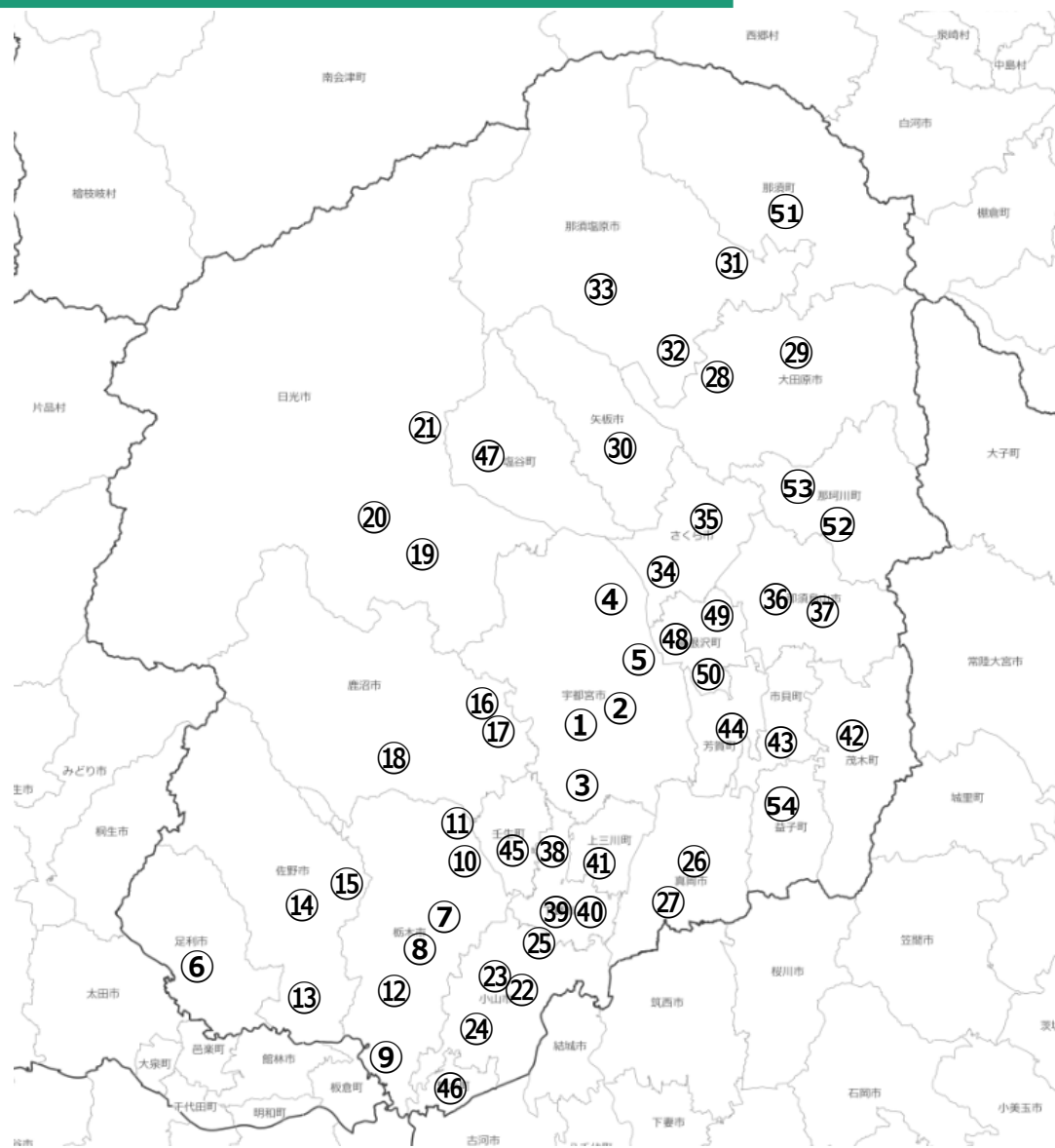
(※2)

(※3)

(※2) 久保記念観光文化交流館 (真岡市) は、施設のうち博物館類似施設に該当する美術品展示館と久保資料室の合計面積

(※3) 益子陶芸美術館 (益子町) は、施設のうち登録博物館に該当する同館、笹島喜平館、研修館、陶芸工房、旧濱田庄司邸の合計面積

県内の市町立図書館（図書室を含む）の状況①



No.	館名	No.	館名
①	宇都宮市立中央図書館	③①	那須塩原市図書館
②	宇都宮市立東図書館	③②	那須塩原市西那須野図書館
③	宇都宮市立南図書館	③③	那須塩原市塩原図書館
④	宇都宮市立上河内図書館	③④	さくら市氏家図書館
⑤	宇都宮市立河内図書館	③⑤	さくら市喜連川図書館
⑥	足利市立図書館	③⑥	那須烏山市立南那須図書館
⑦	栃木市栃木図書館	③⑦	那須烏山市立烏山図書館
⑧	栃木市大平図書館	③⑧	下野市立石橋図書館
⑨	栃木市藤岡図書館	③⑨	下野市立国分寺図書館
⑩	栃木市都賀図書館	④①	下野市立南河内図書館
⑪	栃木市図書館西方館	④②	上三川町立図書館
⑫	栃木市図書館岩舟館	④③	ふみの森もてぎ図書館
⑬	佐野市立図書館	④④	市貝町立図書館
⑭	佐野市立田沼図書館	④⑤	芳賀町図書館
⑮	佐野市立葛生図書館	④⑥	壬生町立図書館
⑯	鹿沼市立図書館	④⑦	野木町立図書館
⑰	鹿沼市立図書館東分館	④⑧	塩谷町図書館
⑱	鹿沼市立図書館栗野館	④⑨	高根沢町図書館
⑲	日光市立今市図書館	④⑩	高根沢町図書館仁井田分館
⑲	日光市立日光図書館	④⑪	高根沢町図書館上高根沢分館
⑲	日光市立藤原図書館	④⑫	那須町立図書館
⑲	小山市立中央図書館	④⑬	那珂川町馬頭図書館
⑲	小山市立中央図書館小山分館	④⑭	那珂川町小川図書館
⑲	小山市立中央図書館間々田分館	④⑮	益子町中央公民館図書室（※）
⑲	小山市立中央図書館桑分館		
⑲	真岡市立図書館		
⑲	真岡市立二宮図書館		
⑲	大田原市立大田原図書館		
⑲	大田原市立黒羽図書館		
⑲	矢板市立図書館		

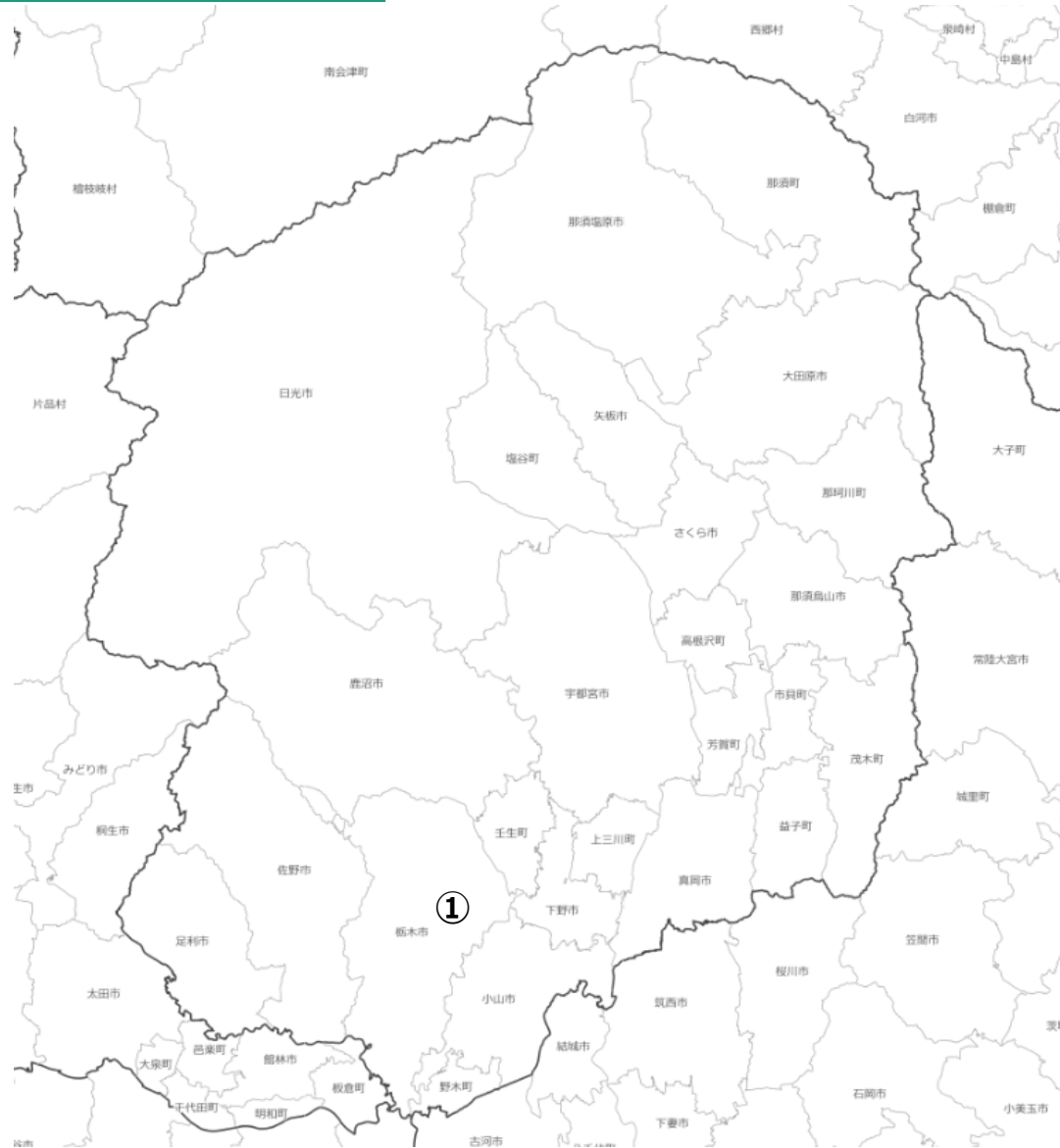
※益子町は図書館未設置のため、
公民館図書室を掲載

県内の市町立図書館（図書室を含む）の状況②

No.	館名	開館年	延床面積 (㎡)
①	宇都宮市立中央図書館	昭和56年	4,739
②	宇都宮市立東図書館	平成4年	5,872
③	宇都宮市立南図書館	平成23年	7,042
④	宇都宮市立上河内図書館	平成4年	1,000
⑤	宇都宮市立河内図書館	昭和61年	1,614
⑥	足利市立図書館	平成28年	3,000
⑦	栃木市栃木図書館	昭和33年	2,088
⑧	栃木市大平図書館	昭和60年	1,872
⑨	栃木市藤岡図書館	昭和56年	1,010
⑩	栃木市都賀図書館	昭和62年	1,098
⑪	栃木市図書館西方館	平成24年	162
⑫	栃木市図書館岩舟館	平成27年	281
⑬	佐野市立図書館	昭和26年	3,042
⑭	佐野市立田沼図書館	昭和54年	1,305
⑮	佐野市立葛生図書館	大正13年	600
⑯	鹿沼市立図書館	昭和45年	2,789
⑰	鹿沼市立図書館東分館	平成16年	640
⑱	鹿沼市立図書館栗野館	昭和51年	1,235
⑲	日光市立今市図書館	昭和57年	2,205
⑳	日光市立日光図書館	昭和52年	654
㉑	日光市立藤原図書館	昭和58年	1,120
㉒	小山市立中央図書館	昭和53年	5,199
㉓	小山市立中央図書館小山分館	平成5年	376
㉔	小山市立中央図書館間々田分館	平成21年	92
㉕	小山市立中央図書館桑分館	平成28年	145
㉖	真岡市立図書館	昭和56年	2,555
㉗	真岡市立二宮図書館	平成21年	982
㉘	大田原市立大田原図書館	昭和56年	1,827
㉙	大田原市立黒羽図書館	平成7年	1,183
㉚	矢板市立図書館	昭和54年	1,232

No.	館名	開館年	延床面積 (㎡)
㉛	那須塩原市図書館	昭和62年	4,644
㉜	那須塩原市西那須野図書館	昭和54年	1,370
㉝	那須塩原市塩原図書館	平成6年	735
㉞	さくら市氏家図書館	昭和55年	1,145
㉟	さくら市喜連川図書館	平成10年	1,795
㊱	那須烏山市立南那須図書館	平成15年	1,765
㊲	那須烏山市立烏山図書館	昭和23年	705
㊳	下野市立石橋図書館	昭和63年	1,488
㊴	下野市立国分寺図書館	昭和51年	1,158
㊵	下野市立南河内図書館	昭和61年	1,485
㊶	上三川町立図書館	昭和58年	1,976
㊷	ふみの森もてぎ図書館	平成28年	994
㊸	市貝町立図書館	平成3年	1,417
㊹	芳賀町図書館	平成20年	964
㊺	壬生町立図書館	昭和54年	1,504
㊻	野木町立図書館	昭和63年	1,811
㊼	塩谷町図書館	平成24年	452
㊽	高根沢町図書館	平成3年	1,587
㊾	高根沢町図書館仁井田分館	平成6年	235
㊿	高根沢町図書館上高根沢分館	平成11年	310
51	那須町立図書館	昭和54年	1,115
52	那珂川町馬頭図書館	昭和55年	777
53	那珂川町小川図書館	平成17年	527
54	益子町中央公民館図書室	昭和63年	195

県内の市町立文学館の状況



No.	館名	開館年	延床面積 (㎡)
①	栃木市立文学館	令和5年	1,032

デジタルに係る事例

事例

デジとしよ信州(長野県)

全ての県民が、居住する地域や世代の違い、障がいの有無等にかかわらず、いつでも、どこからでも、無償で、必要とする情報(電子書籍)にアクセスできる環境を構築している。



出典:同館ホームページ

デジタルアーカイブ福井(福井県)

福井県文書館・図書館・ふるさと文書館に加え、8組織の資料(デジタルアーカイブ)を横断検索でき、「閲覧複写申込」のボタンから「閲覧複写申込書」が自動で作成されるため、印刷して閲覧することもできる。



出典:同館ホームページ

石川県立図書館「ブックリウム」

利用者が好きな言葉を選ばると、ウォールスクリーンにその言葉に関連する本が浮かび上がる、図書館の100万冊の蔵書の世界を表現したデジタルアート「ブックリウム」を設置している。



出典:同館ホームページ

※QRコードから、各事例のホームページをご覧ください。

共生社会に係る事例

事例

水戸芸術館現代美術ギャラリー(茨城県)

全盲の美術鑑賞者をナビゲーターとして、見える人と見えない人が一緒に展覧会を鑑賞する、視覚に障害がある人との鑑賞ツアー「session!」を開催し、見えることや感じることを言葉で交換している。



出典:同館ホームページ



埼玉県立図書館

心身障害や高齢などの理由で、活字による読書に困難のある利用者のため、録音図書・雑誌(音声デージー※1)、カセットテープ)、マルチメディアデージー、点字図書・雑誌、点字データ、布の絵本(学校や団体のみが対象)の提供や、対面朗読などの図書館サービスを実施している。

(※1)Digital Accessible Information SYstemの略称で、読み上げ音声等が供えられたデジタル録音図書を指す。



出典:同館ホームページ



東京都美術館「Museum Start あいうえの」

展覧会広告物やキャプションの多言語化による発信力強化に加え、東京都・東京芸術大学と共催する「Museum Start あいうえの」では、外国にルーツを持つ方などを対象とした「やさしい日本語」のプログラムを通して、文化や言語による障壁を超える活動を実施している。



出典:「Museum Start あいうえの」ホームページ



※QRコードから、各事例のホームページをご覧ください。

環境配慮に係る事例

事例

ミライon(長崎県立長崎図書館及び大村市立図書館・大村市歴史資料館)

快適な閲覧・学習空間を、可能な限り少ないエネルギーで実現するため、大屋根・大空間を利用した熱負荷の抑制、居住域空調システムを導入している。(日本初のZEB(※1)ライブラリー)

(※1)Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物を指す。



出典:同館ホームページ

新千葉県立図書館・県文書館複合施設 ※整備中

建物本体の高断熱化や環境負荷に配慮した電気・空調設備等の導入により、ライフサイクルコストの低減を図りZEB Ready(※2)相当の施設を目指している。

(※2)ZEBを見据えた先進建築物であり、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建物を指す。



出典:同館ホームページ

※QRコードから、各事例のホームページをご覧ください。

地域連携に係る事例

事例

富山県立美術館「ビビビとジュルリ」

県内 15 市町村の様々な生産者と連携し、富山の“旬の味”を来館者に提供しており、料理を引き立たせる食器に、富山の職人達の手によって作られた伝統工芸品（鋳物、陶器、磁器、ガラスなど）を使用している。



出典:「ビビビとジュルリ」ホームページ

大分県立美術館「竹会」

竹の産地であることを活かし、竹の魅力に出会える無料イベント「竹会」を実施し、竹工芸コレクションの鑑賞、竹工芸家の公開制作、建物の夜間ライトアップ、音楽ライブ、ワークショップの開催、地酒の販売など、地場産業組合・団体等と連携して地域資源の魅力を発信している。



出典:同館ホームページ

長野県立美術館

人気の観光スポットである善光寺との一体性を意識した施設整備や周辺整備を行ったほか、善光寺や門前商店街と連携し、善光寺エリアでの周遊を促進するような取組も実施している。



出典:同館ホームページ

※QRコードから、各事例のホームページをご覧ください。

一体的な整備を行っている施設の事例

事例

沖縄県立博物館・美術館

施設間を自由に行き来することができ、共通テーマによる展示会の開催等、共同事業を実施している。



出典:同館ホームページ



富山市立図書館本館・富山市ガラス美術館(富山県)

複合ビル「TOYAMAキラリ」に所在する富山市立図書館本館で貸出手続を行った書籍を、同一施設内の富山市ガラス美術館の展示室にも持ち込むことができる。



出典:同館ホームページ



ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス(東京都)

「図書館」を中心に「生涯学習支援」、「青少年活動支援」、「市民活動支援」の4つの機能を併せ持った施設であり、各種機能を融合させ、子どもからお年寄りまで交流できる「場」を市民に提供している。



出典:同館ホームページ



※QRコードから、各事例のホームページをご覧ください。